

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要

長野県の北西部、北アルプスの麓に位置する大町市は、息を呑むほど秀麗で雄大な3000m級の峰々を目前に仰ぎ、アルプスの鏡とされる青木湖・中綱湖・木崎湖の三つの湖が連なる仁科三湖や高瀬川、鹿島川の清流、豊富な水や温泉など、四季折々の美しく変化に富んだ豊かな大自然に恵まれています。



面積: 565.15km² 人口: 約2万7千人



今後のビジョン・計画

「水が生まれる信濃おおまち」サステナブル・タウンを実現

市民主体の産学官金連携による「共創の力」により、地域資源を活かした取組みを推進し、多様な課題の解決へとつなげ、「人口減少の克服」により、100年先の未来へ、今と変わらない「水が生まれる信濃おおまち」の実現を目指す。

◆人口減少の克服を実現

2030年人口23,430人以上の維持の実現

◆魅力あふれ活力ある「まち・ひと・しごとづくり」を実現

市民主体の産学官金連携による共創の力で持続可能な「まち・ひと・しごとづくり」を実現する。

- ◆地域資源を活用した観光振興による、まち・ひと・しごとづくり
- ◆地域資源を活用した地域ブランド振興による、まち・ひと・しごとづくり
- ◆地域資源を活かした移住促進と誰もが活躍できる、まち・ひと・しごとづくり

SDGsに関する特徴的な取組

SDGs共創パートナーシップにより育む 「水が生まれる信濃おおまち」サステナブル・タウン構想



SDGs未来都市計画の実現に向け、大町市は、サントリー、JTB、八十二銀行、大町商工会議所、大町市教育委員会の産学官金連携により、SDGsの目標達成に向けたプロジェクトを12月2日に発足しました。

【名称】信濃おおまち みずのわプロジェクト

「みずのわ」の「わ」は、「輪」「環」「和」「WOW」の4つをイメージし、プロジェクトが目指す思いを込めています。

「輪」 水を起点としたコミュニティ・仲間とともに共創 「環」 サステナブル=循環型社会の実現への思いを込めて
「和」 大町市の持つ穏やかさと温かさを表す 「WOW」 地域の方にもゲストの方にも驚きと楽しみを

【コンセプト】

SDGs未来都市計画の選定を機に、「水が生まれる信濃おおまち」とSDGsの取り組みを積極的に推進している企業が中心となり、北アルプス山麓を起点に、豊かな「水」と育んできた暮らし・風土・文化を学び、自然と人とのやさしいコミュニティを育むことで市民のみなさまとともに100年先を見据えた「まち・ひと・しごとづくり」を実現し、サステナブルなモデルタウンを目指します。

【今後の取組み】

◆「みずのわプロジェクト」では、知名度の向上を目指し、地方の文化振興、製品の販促につなげるため、積極的な情報発信に向け、Eコマース機能を付加した地域ポータルサイトの構築を行います。

◆来年4月までに、2023年度までの具体的な展開を示すアクションプランを作成し、経済・社会・環境の三側面からアプローチを進めるとともに、産学官金それぞれの分野から具体的な取組みを提案いただき、市民の皆様とともに取り組める地に足のついた事業をコツコツと積み上げていきます。

大町市ホームページ

<https://www.city.omachi.nagano.jp>



信濃おおまち
みずのわ
プロジェクト
MIZUNOWA PROJECT
OMACHI, NAGANO, JAPAN

- 清らかな湧水の水色
- 夏の山々の緑
- 朝焼けの雪山のオレンジ
- 晴れ渡る空の青色
- オオヤマザクラのピンク
- 森に囲まれた湖の蒼色
- たなびく稲穂の黄金色